

つありますので、それに対応できるように次の二つの提案をしておきたいと思えます。

#### ㊦野生動物のグローバル展示

一つは、よこはま動物園は日本最初の繁殖センターを備えた日本最大級の動物園であり、希少動物の保護繁殖のテーマパークとして一層充実するため、現在建設中のオカビの森(イトウリの森)にボノボ、オカビなどの四大希少動物の展示、また中国の四大希少動物のトキを収集し、ランドオープン時には日本人の愛玩精神に合致するジャイアントパンダを誘致し、世界三大希少動物(珍獣)と合わせて、世界最初の野生動物のグローバル展示計画を試みることであります。

これからは、希少動物の単種の展示だけでは集客の一助となり得ないので、利用料金制度を採用している組織としては、次の一項目でもグローバルな展示計画で、来園者に生物の存在価値観と野生動物と人類の共存について解説します。

#### ㊧オカビの森(イトウリの森)の四大希少動物

・ボノボ(霊長類、Bonobo) 海外より収集予定

・コンゴクジャク(キジ科、Congo Peacock) ー アフリカに生息する唯一真正キジの仲間

でアントワープ動物園より入園予定。  
・オカビ(キリン科、Okapi) ーズーラシアで展示中。

・ボンゴ(偶蹄類、Bongo) ー金沢動物園で展示中。

#### ㊨中国の四大希少動物

・朱鷲(トキ科、Crested Ibis) ー日本の特別天然記念物で、学名はNipponia nipponと命

名されている。

・金絲猴(霊長類、Golden Monkey) ーズーラシアで展示中。

・ゴールデンターキン(偶蹄類、Golden Takin) ーズーラシアで展示中。

・ジャイアントパンダ

#### ㊩世界の三大希少動物(珍獣)

・ジャイアントパンダ(クマ科、Giant Panda) ー中国から誘致可能。

・オカビ

・ボンゴ

#### ㊪東南アジアに希少動物保護・検疫施設を

二つ目は、一九七四年以来、横浜ー上海友好都市の動物交換は十二回目を迎え、その都度、動物交換団は上海動物園を訪れて非公開の繁殖センターを視察しました。そこでは自国の中国第一級保護動物、金絲猴、ゴールデンターキン、ヨウスコウウニ、コウノトリ、オグロゾル等が飼育されており、たくさん繁殖に成功しており、何時も動物交換団は感激して帰国したことを覚えています。

また、サンディエゴ動物園との動物交換は、姉妹都市提携の節目節目に行われてサンディエゴ動物園を訪問し、更にサンディエゴ動物園分園のワイルドアニマルパークを視察しました。

ここは一般公開をしながら種の保存を考慮しており、園内はガイド付きの昔の西部劇を思わせるようなモノレールに乗って見るシステムになっています。その面積はアメリカ大陸ならでのもので、横浜市の西区の面積より広く、広大な原野を思わせるようなところで、毎年施設整備や草地・土壌改良をしながら世

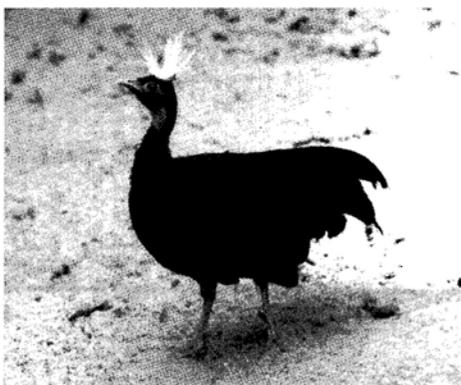
界の絶滅危惧種を中心に収集し、種の保存の壮大な繁殖プログラムを開いて感銘したものです。

多くの諸先輩が先進国動物園の行政視察をして、よこはま動物園も漸く世界の動物園行政と肩を並べられるようになりました。

また、ベトナム・ハノイ動物園から車で半日を要する郊外にクーボン国立公園があり、動物園の霊長類救護センター施設を視察しました。

その施設はダイヤフェンスで囲った簡単なものですが、その中にはズーラシアで探し求めているドウ克蘭グール(二十五頭)やデラクルラングール、テナガザル等東南アジアに生息する七種類の葉喰いザルの仲間を見せられて、ただただ呆然とするばかりでした。施設の管理者としてフランクフルト動物園からセンター長と獣医師のみが派遣されており、その他は全て現地調達で運営をいたしました。繁殖個体の一部は野生へ復帰させ、一部はベトナム政府の許可をえて、種の保存のため本国へも送られてゆくのです。

昨年一月から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行されました。これは動物から由来する感染症の対策として法的に位置付けられ、エボラ出血熱とマールブルグ病(エボラ等)を対象として霊長類全種の輸入検査が行われるようになりました。そして農林水産省によりエボラ等が発生している国々からの霊長類の輸入は禁止され、更に昨年三月に九十二年振りに日本に口蹄疫が発生し、家畜伝染病予防法に基づく



イトウリの森の四大希少動物  
・コンゴクジャク



繁殖に成功したオオアリの母仔

偶蹄類の輸入は一層厳しくなり、また霊長類の輸入個体は繁殖二代目（F<sub>2</sub> || F<sub>1</sub> × F<sub>1</sub>）が基本とされています。

これからは動物収集は益々窮地に迫いつめられるようになり、動物園自体、運営が危惧される事態ともなりかねないので、独自で東南アジアに希少動物の保護・検疫施設を持つことを、今世紀の動物園行政を担う人々へその夢を託したいと思えます。

ズーラシアの動物収集に当たり、ご指導とご協力を頂いた国の関係機関・通商産業省貿易局農水産室、環境庁自然保護局野生動物課、農林水産省畜産局衛生課、動物検疫所、また多大なご尽力戴いた麻布大学講師・堀浩先生、サンディエゴ動物園 coordinator・M. Fuji Rodrigues さんに改めて深く感謝を申し上げます。

## 2 動物園の運営管理 — Zoo Management Technique

### ① 動物園の組織

横浜市は、動物園の運営管理を（財）横浜市緑の協会に委託しています。  
横浜市緑の協会動物園部の職員数は、八十一人（固有五十四人、嘱託二十七人）。図参照  
ズーラシアを管理運営するスタッフには、協会職員その他、警備、案内・誘導、設備維持補修、清掃、植物等園内管理、シヨップ運営やレストラン業者を含め約二百人がいます。

- ② 新たな試み
- ① 動物にやさしく

・ 全ての動物舎にサブパドックを設置、隠れ場のある（居心地の良い）展示場  
② 環境にやさしく  
・ 電気自動車等低公害車の導入、透水性舗装の採用、繁殖センターの太陽光発電  
・ 清涼飲料水のデポジット導入、来園者へのゴミ袋の配布  
③ 人にやさしく  
・ 園路勾配八%以内、点字サイン、音声ガイド機器や車椅子のレンタル、レブリカを触ることによる動物の特徴把握、身障者トイレの設置  
④ 運営経費の節減等効率的経営  
・ 工業用水の利用、来園者変動に併せた業務員の増減配置、協賛企業の募集、割引（バス・入園）セット券販売等パートナー企業との連携  
⑤ 来園者サービスの充実  
直営ギフトショップでのオリジナルグッズの開発販売、双眼鏡、乳母車等のレンタル、行楽シーズンのお弁当販売、ボランティアによる日曜日の園内ガイド、ホームページの充実、iモードの発信

### ③ 集客対策

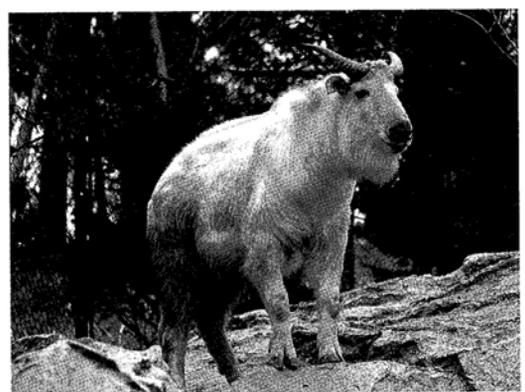
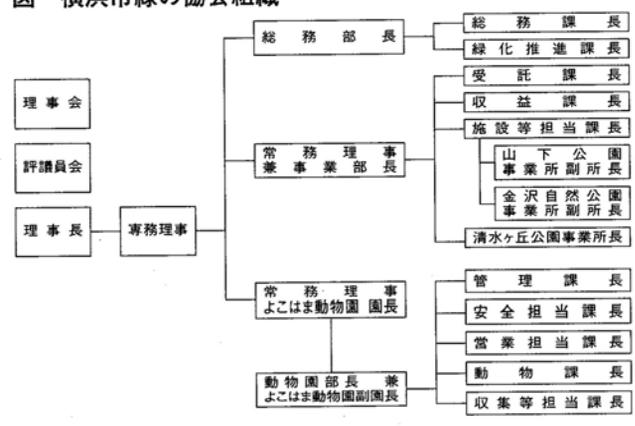
① 旅行代理店等への働きかけ  
・ 有力旅行代理店へ動物園へのツアー企画を働きかけている。  
・ 市内有力ホテル、コンビニエンスストア、チケットショップ等と契約し前売り券販売を行う。ホテルにはPRビデオの貸出も行ってはいる。  
② 学校団体への働きかけ  
・ ズーラシアの利用の手引き、学習ノートを

幼稚園、小中学校へ配布すると共に来年度から新しく導入される教育課程・総合学習の一貫としての来園を案内している。  
・ 学校や幼稚園の遠足を取り扱う旅行代理店向けに動物園を紹介している。  
③ 広報計画  
・ 園内イベントとマスコミ各社への計画的ニュースリリース。  
・ ズーラシアンプラス（人気動物をモチーフにした金管五重奏）の園内外での演奏。  
④ ゴールデンウィーク混雑対策  
ゴールデンウィークの道路混雑緩和と公共交通機関の利用促進を図るため、動物園入園券とバス往復乗車券のセット券（表）を割引販売している。

### ④ 来園者のサービス施設一覧

- ① レストラン  
オージーヒル・レストラン 二百席  
アクアテラス・ラビット  
（カフェテリア） 六十席  
ジャングルインフォメーション open
- ② 物販店  
オージーヒル、アクアテラス 二カ所
- ③ 駐車場・乗用車 千五百台@千円  
バス 二十台@二千五百円
- ④ レンタルコーナー  
コインロッカー @二百・三百・五百円  
音声ガイドシステム @五百円  
双眼鏡 @百・二百円  
ベビーカー @五百円  
車椅子 無料

図 横浜市緑の協会組織



中国の四大希少動物・ゴールデンターキン

## ⑤授乳室

### 3 一種の保存

#### ①なぜ種の保存か？

世界自然保護連合 (IUCN) は、一九八〇年に「世界環境保全戦略」を発表し、動物園が自然保護に果たすべき役割を促し、地球の天然資源と生物多様性の持続的利用、並びに人間社会と自然環境との間の新しい均衡の確立を説きました。

これを受けて、世界動物園水族館機構 (WAZA) は、一九九三年に「世界動物園保全戦略」を作成し、地球上から急速に姿を消しつつある野生生物と生物多様性を守る手助けをすることを目標とし、「種の保存」と「環境教育」を今日的な課題として採り上げた。

前者は、消極的ながら生息地外 (動物園・自然公園・保護区) を一時的なシエルターとして、注意深く選定された一部の希少動物種を保存していこうとするものであり、いわば、現代版「ノアの方舟」の発想であります。

後者は、これと並行して生息地内の生物の多様性を丸ごと保存すべく、環境保全のための啓発活動を人々に積極的に展開していこうとするものであります。

従来から動物園は、博物館群の一分野として、自然保護や自然認識等を、内包する機能と位置づけてきました。

しかしながら、動物園の歴史を顧みれば、展示物としての野生動物の消費者としての過去を素直に認めざるを得ません。

今や、蓄積された野生動物飼育のノウハウ

を「自然保護」事業に還元すべき時代へと突入しているものであり、社会もそれを期待しているものといえるでしょう。

#### ②保護と保存

保護 (Conservation) と保存 (Preservation) との違いは重要です。

種の保存とは、保護区から動物園に至るまでの飼育下において、特定の種の生存を保証する十分な大きさの集団を維持することであり、また同時に将来の適応が可能ないように、基礎個体群に十分な遺伝的多様性を残す努力のことをいいます。

注意を促すべきは、「種の保存」の概念はやみくもに希少種を繁殖・増殖させることで無く、注意深く計画された長期繁殖計画に則り、希少種の遺伝的多様性を確保しつつ一定期間、一定の頭数を確保保存する考えであります。

一方、保護といった時、その目標は、自然淘汰による進化が働き、また遺伝的浮動による喪失よりも早い率で突然変異が新たな変異を蓄積する野生生息地へ、動物たちを復帰させることです。

動物種のための最近の殆どの保護計画は、せいぜい保存計画です。

#### ③保存種の選定

ニューヨーク野生生物保護公園 (ブロンクス動物園) のコンウェイ園長 (一九九六) の試算によれば、世界の動物園の総飼育面積は、ニューヨークのブルックリン地区にすっぽりと収まってしまいう程度の二万九千五百九十五

ヘクタールにすぎず、飼育下で累代的に特定の種を二百年間維持していくためには、多く見積もっても哺乳類三百三十種、鳥類四百六十七種、爬虫類九十六種、両生類三十二種を飼育するスペースしかない。しかしながら、一九九六年版世界自然保護連合 (IUCN) 発行のレッド・リストには、魚類を除く脊椎動物だけで二千五百八十八種もが絶滅の恐れがある種としてリストアップされており、世界中の動物園の飼育スペースを合計してもなお、常に限界があることを物語っています。

ここで強調しておきたいことは、動物園が飼育展示している種は、その殆どが生態系においても食物連鎖系においても、常に頂点近くに位置する動物群である点です。

これらの動物が絶滅の危機に瀕していることは、取りも直さずこの下部の生態系が壊滅的な痛手を被っていることを意味する。

さて、動物園は自然界の仕組みを解説することが最重点の目的であるので、この目的に適った、あるいはその目的を果たすのに必要な動物種を集めなければならない。

種の保存対象分類群や種を選定するにあたり、動物系統分類学や動物地理学等の知見を考慮しつつ、その判断根拠は、まず第一に野生での減少状況や将来野生復帰させる可能性に置くべきであります。

同時に、環境教育プログラム面で、その分類群に人々への教育、学術研究、それに生息地の保全を支える募金活動を通じて、直接保全活動に貢献する可能性も考慮すべきです。これは先導役となる種、即ち遺伝的変異だけでなく、生息地と他の種をも守る潜在能力を

表 セット券の種類と金額

	バス往復料金	入園料	合計	セット券発売金額
大人	210円×往復=420円	600円	1,020円	800円 (△21%)
高校生	210円×往復=420円	300円	720円	600円 (△16%)
中学生	210円×往復=420円	200円	620円	500円 (△20%)
小学生	110円×往復=220円	200円	420円	200円 (△52%)

\* 発売予定期間：平成13年4月14日(出)～5月6日(日)

\* 利用予定期間：平成13年4月28日(出)～5月6日(日)